



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 森組

コード番号 1853 URL <http://www.morigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長

(氏名) 黒飛 勝之

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,417	9.5	1,716	131.7	1,683	145.6	1,225	87.5
27年3月期第3四半期	22,305	1.9	740	128.0	685	163.0	653	238.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	37.42	—
27年3月期第3四半期	19.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	21,065	6,814	32.4	208.08
27年3月期	21,524	5,642	26.2	172.26

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,814百万円 27年3月期 5,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成28年2月5日)公表いたしました「配当予想の修正(復配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	1.5	1,800	35.9	1,750	40.7	1,340	△6.8	40.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	32,800,000 株	27年3月期	32,800,000 株
28年3月期3Q	48,102 株	27年3月期	47,202 株
28年3月期3Q	32,752,708 株	27年3月期3Q	32,753,460 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
四半期受注の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、企業収益の回復基調や雇用環境の改善が続く中、企業の設備投資も増加傾向にあり、全体として緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国をはじめとする新興国の経済減速等のリスクが顕在化し、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共建設投資が堅調に推移し、民間建設投資も企業収益の回復を背景に持ち直しているものの、建設技術者・技能者不足による労務費と建設資機材の価格上昇が懸念され、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社では経営基盤の安定化を最重要課題とし、「①安定した事業量の継続的確保」、「②安定した利益を生み出す価格競争力」、「③継続的な人財育成・活性化」、これら3つの中長期戦略を継続的に実行してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における工事受注高は21,891百万円（前年同四半期比7.6%増）となり、売上高24,417百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益1,716百万円（前年同四半期比131.7%増）、経常利益1,683百万円（前年同四半期比145.6%増）、四半期純利益1,225百万円（前年同四半期比87.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業におきましては、受注高21,891百万円（前年同四半期比7.6%増）、売上高23,378百万円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益2,137百万円（前年同四半期比90.0%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高26百万円（前年同四半期比81.4%減）、セグメント損失25百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(碎石事業)

碎石事業におきましては、売上高1,011百万円（前年同四半期比7.7%減）、セグメント利益151百万円（前年同四半期比51.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比458百万円減少の21,065百万円となりました。この主な要因は、工事が順調に進捗したことにより売上債権が増加したものの、有利子負債の返済に伴い現金預金が減少したこと及び未収消費税を含むその他流動資産が減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比1,631百万円減少の14,251百万円となりました。この主な要因は、有利子負債の返済によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比1,172百万円増加の6,814百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益によるものであります。この結果、自己資本比率は32.4%（前事業年度末は26.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績動向及び今後の見通しを勘案し、平成27年11月6日に公表しました通期の業績予想を下記の通り修正しております。

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,500	1,500	1,440	1,070	32.67
今回発表予想(B)	31,500	1,800	1,750	1,340	40.91
増減額(B-A)	△1,000	300	310	270	
増減率(%)	△3.1	20.0	21.5	25.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	31,044	1,324	1,243	1,438	43.91

修正の理由

手持工事の工事採算の好転等により、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想数値を上回る見込みとなりました。

(注意事項)

上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しております。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,088	4,694
受取手形・完成工事未収入金	9,834	11,184
売掛金	226	323
未成工事支出金	20	22
たな卸不動産	423	560
商品及び製品	1	—
仕掛品	0	0
材料貯蔵品	118	106
繰延税金資産	113	21
その他	1,187	905
貸倒引当金	△202	△202
流動資産合計	17,813	17,618
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,054	1,071
機械、運搬具及び工具器具備品	1,750	1,779
土地	1,603	1,603
リース資産	180	177
減価償却累計額	△2,063	△2,086
有形固定資産合計	2,525	2,545
無形固定資産		
210		171
投資その他の資産		
投資有価証券	514	435
長期貸付金	47	38
長期営業外未収入金	52	49
破産更生債権等	0	0
繰延税金資産	87	110
その他	333	154
貸倒引当金	△61	△57
投資その他の資産合計	974	730
固定資産合計	3,710	3,447
資産合計	21,524	21,065

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,017	9,940
短期借入金	4,143	1,936
未成工事受入金	1,084	753
前受金	0	1
完成工事補償引当金	53	26
工事損失引当金	16	3
賞与引当金	85	—
未払法人税等	26	388
その他	346	461
流動負債合計	14,773	13,512
固定負債		
長期借入金	148	59
退職給付引当金	730	517
その他	230	161
固定負債合計	1,109	738
負債合計	15,882	14,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	3,703	4,929
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,541	6,767
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100	47
評価・換算差額等合計	100	47
純資産合計	5,642	6,814
負債純資産合計	21,524	21,065

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高		
完成工事高	21,066	23,378
碎石事業売上高	1,095	1,011
不動産事業売上高	142	26
売上高合計	22,305	24,417
売上原価		
完成工事原価	19,563	20,880
碎石事業売上原価	973	825
不動産事業売上原価	104	17
売上原価合計	20,640	21,723
売上総利益		
完成工事総利益	1,503	2,498
碎石事業総利益	122	186
不動産事業総利益	38	8
売上総利益合計	1,664	2,693
販売費及び一般管理費	923	976
営業利益	740	1,716
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	6	5
保険配当金	5	6
受取事務手数料	3	3
雑収入	6	10
営業外収益合計	24	28
営業外費用		
支払利息	69	50
雑支出	10	10
営業外費用合計	79	61
経常利益	685	1,683
税引前四半期純利益	685	1,683
法人税、住民税及び事業税	31	363
法人税等調整額	—	95
法人税等合計	31	458
四半期純利益	653	1,225

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	21,066	142	1,095	22,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	12	12
計	21,066	142	1,108	22,317
セグメント利益	1,125	1	100	1,226

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,226
全社費用(注)	△485
四半期損益計算書の営業利益	740

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	23,378	26	1,011	24,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4
計	23,378	26	1,016	24,421
セグメント利益又は損失(△)	2,137	△25	151	2,264

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,264
全社費用(注)	△547
四半期損益計算書の営業利益	1,716

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期受注の概況

(1) 受注実績

項目	受注高	
平成28年3月期第3四半期累計期間	21,891百万円	7.6%
平成27年3月期第3四半期累計期間	20,350百万円	△2.1%

- (注) ①受注高は、当該四半期までの累計額
 ②海外受注高はありません。
 ③パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建	土木	官公庁	10,826	53.2%	12,603	57.5%	1,777	16.4%
		民間	449	2.2%	800	3.7%	350	78.0%
		計	11,275	55.4%	13,403	61.2%	2,127	18.9%
設	建築	官公庁	857	4.2%	671	3.1%	△186	△21.8%
		民間	8,217	40.4%	7,817	35.7%	△400	△4.9%
		計	9,074	44.6%	8,488	38.8%	△586	△6.5%
業	計	官公庁	11,683	57.4%	13,274	60.6%	1,590	13.6%
		民間	8,666	42.6%	8,617	39.4%	△49	△0.6%
		計	20,350	100%	21,891	100%	1,541	7.6%

(2) 受注予想

項目	受注高	
平成28年3月期 通期予想	34,300百万円	8.4%
平成27年3月期 通期実績	31,636百万円	10.7%

- (注) パーセント表示は、前年同期比増減率